

# AI・XR活用による空のアバターを実現する 『革新的ドローンリモート技術』の研究開発

## 背景・狙い

- 近未来のスマートシティにおける迅速かつ効率的な救助・警備・点検の実現を目的に、5Gで通信接続された複数遠隔ドローンのネットワークとクラウド上のデジタルツインにより、状態推定AIによる要救助者、異常行動者等の認識、高度なXR提示技術によるワンマンオペレーションを実現する。

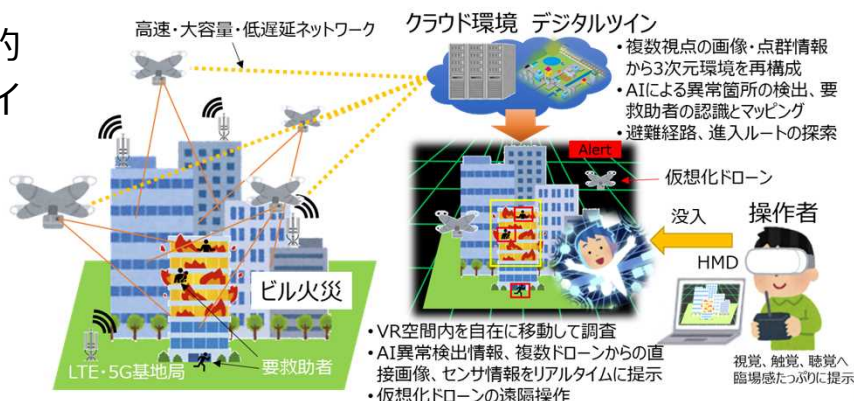
**キーワード** 5G x 複数ドローン x AI、デジタルツイン、XR提示技術

## 取組み内容

- マルチセンサ搭載LTE・5Gドローンの開発と群制御。

- 複数ドローンからの多角的情報に基づくデジタルツイン環境の構築。

- 異常検知AI、人等の状態推定AI、VR環境への没入によるXR提示・インターフェイス技術の開発。



## 想定される成果

- 5G x 複数ドローン x AI x デジタルツインによる『革新的ドローンリモート技術』を世界に先駆けて実現。（国際競争力強化）
- 防災基本計画に記載されているドローンの利活用の幅を大きく広げ、ワンマンオペレーションによる緊急を要する搜索救助活動の迅速かつ効率化、人命救助率の向上。（国民生活への貢献）
- 2025年の大阪万博に合わせて近未来都市における警備、防災訓練等の公開実証を行い、国産技術を広くアピール。（我が国経済再生への貢献）

研究開発テーマ名：「AI・XR活用による空のアバターを実現する『革新的ドローンリモート技術』の研究開発」

委託先：国立大学法人東京大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所  
再委託先：イームズロボティクス株式会社、株式会社NTTドコモ  
主要研究者：土屋 武司（東京大学）、神村 明哉（産業技術総合研究所）